

インターネット
ホームページ
www.nippo.co.jp/
廃棄物・環境の「製品情報」発信中

月

とともに作業環境向上を図った」と述べている。(関連記事2面)

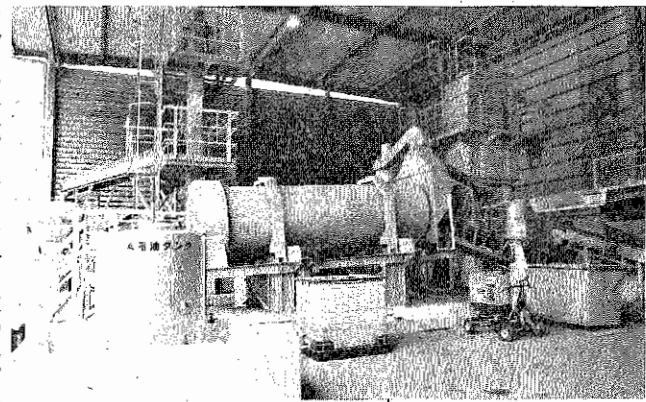
サンドブラスト廃砂R

ワコー産業 全国展開目指し拡大

再生砕石や建廃処理などに取り組みワコー産業(和歌山県印南町、山本雅弘社長、0738・45・0205)は、塗料を含むサンドブラスト廃砂の再資源化を実現した。プラスチックは再生砂に、塗料くずは製鋼副資材の原料とすることで1

00%リサイクルを達成。塗料を含むサンドブラスト廃砂の中間処理は国内でも珍しく、全国を対象に営業を拡大していく。(関連記事3面)

同社のサンドブラスト廃砂リサイクル事業では、造船所や橋梁工事のサビ落とし作業などで発生する塗料混じりのサンドブラスト廃砂を受け入れ、乾燥させたうえでふるい選別、風力選別し、プラスチックと塗料くずに選別。プラスチックは路盤材としてグループリ内の建設会社で活用し、塗料くずは製鋼副資材のフォーミング材原料として出荷。残渣が発生しないゼロエミ



新設した

サンドブラスト廃砂処理プラント

ッション型のリサイクルを実現している。なことから、管理型最

塗料を含むサンドブラスト廃砂は、鉍さいと廃プラスチックの混合物として、全国展開を進めたいとした。

終処分場で埋立するケースが多い。しかし、同社は装置メーカーの近畿工業(神戸市)との協力でプラントを構築し、安定した選別を可能とした。現在、この選別技術で特許も申請中という。

同社の山本雅弘社長は「顧客の要望に対応するべく、近畿工業の協力も得ながらリサイクルを実現した。独自性のある技術として、全国展開を進めたい」とした。

同社はジーカーの多構える山梨の抽出・材事業を営むの単一素材技術とノウハウの1973年1973年きた。受けの種類の最適な処理液は液体を得意な収集協力し、回収を行っ

小泉進次郎環境大臣は4月10日、廃棄物処理の関係者に新型コロナウイルスとの戦いに関連して手紙を送った。ここで、その全文を紹介する。

感謝の気持ちをお伝えするにはどうしたらいいか考え、このようなお手紙を出させていただきました。

雨の日、雪の日、猛

皆様が最前線で携わっている廃棄物処理された、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」においても、廃棄物処理は国民の安定的

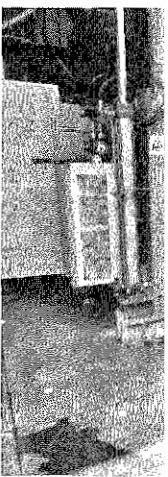
小泉大臣から手紙届く

新型コロナウイルスとの戦いで

日々の廃棄物処理で社会を支えてく

暑や寒寒の中でも、世々々々世界全本が新型コロナ生活の確保及び社会

て120年の年です。ウイルス感においても、物の衛生的に続き下さこの未曾有服につながる活の大きなと信じてマスク、業務継続の不足に対



ラベ

とが可能などのある(化学系廃理し、金・ウム、プラ貴金属の